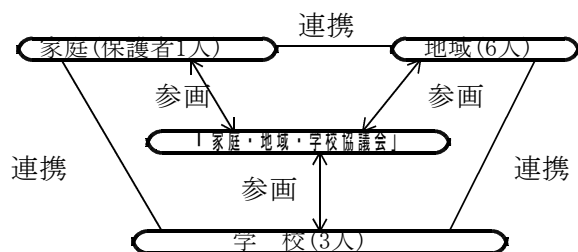


# 令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

福井市進明中学校

## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



#### ※地域コーディネーター（4名）

- ・PTA会長
- ・元PTA会長
- ・青少年育成会会長
- ・元教育振興会会長

### (2) 協議会の内容

#### ○年間3回開催

6月28日、12月17日、3月13日

#### ○協議内容（予定）

- ・本会の活動方針
- ・学校の教育計画、学校評価の考察
- ・地域人材の活用、生徒の地域参加
- ・学校内外の生徒の様子と大人との接し方
- ・教育ウィークの内容 等

### (3) 協議会における成果と課題

- ・公民館と連携することで、地域と進める体験活動における人材を確保することができた。
- ・地域での学力向上策として、公民館での「中学生の勉強室」を開設することができた。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

地域コーディネーターと連携しながら、地域の調査活動等に取り組みせ、地域の魅力や課題を再発見させる。その学びの成果を地域へ発信していく活動を通して、生徒たちに地域への愛着と誇りの気持ちをもたせる。

### (2) 活動の実際

#### ①地域調査活動～進明地区の魅力を探ろう～（1年生）

10月25日（金）の午後から、進明地区の魅力を探るため、防災・観光・国際理解・産業などのテーマに分かれて、校区内を中心とした様々な施設（20カ所）を訪問し、調査活動を行った。その後、調査してきたことをポスターにまとめ、学年で発表会を行った。生徒にとっては、日頃見慣れた場所であるが、新たな発見がたくさんあった。



#### ②地域との交流体験講座～地域の魅力を再発見しよう～（1年生）

12月17日（火）には、「地域との交流体験講座」を開催した。これは、地域に暮らしておられる様々な技術や技能、経験をお持ちの方から、話を聞いたり体験したりすることで、自分の住んでいる地域について詳しく知り、地域の良さに気づくことをねらいとして開催した。地域で活躍されている34名の方々を講師としてお招きし、13の講座（茶道、ハーバリウム、日本料理、紙芝居、手話、朗読、打ち豆料理、門松づくり、和太鼓、棒フットサル、俳句、プリザーブドフラワー、着付け）を開設した。門松づくりでは、始めに門松を飾る理由などの説明を伺った後、講師の方と一緒に土台に竹3本と葉ボタンを固定し、ナンテンやマツな

などを飾り、高さ約1.5mの門松を完成させた。体験後の生徒たちは、「初めてだったけど、楽しかった。」「難しかったけど、優しく教えてもらえて、よく分かった。」「またやってみたい。」などの思いを、口々に話していた。生徒たちは、これまでも進明地区の魅力さをさらに輝かせようという目的で、地域の方にお話をお聞きしたり、自分たちで調査し考えを深めてきた。さらに、今回は一緒に体験をしたことで、進明地区の新たな魅力に気づき、地域についての学習を深めることができた。

### (3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・まず計画段階で、色々なグループへ調査活動についてのアドバイスをしてもらった。そのアドバイスをもとに、地域の方を訪問して進明地区の魅力や課題などを聞く活動を行った。
- ・地域との交流体験講座開設にあたって、何ができるかのアドバイスや講師の紹介をしてもらった。

### (4) 特に工夫した事項

- ・個々の活動が単発的なものにならないように、1年生が総合的な学習の時間に取り組んでいる『輝け！我がまちプロジェクト』の一環として行った。
- ・生徒の地域への愛情と誇りをより高めるために、体験講座で御世話になった地域の方々を学校にお招きし、ポスターセッション方式で進明地区の良さや魅力を発信する場を設定した。

### (5) 成果と課題

- ・地域の調査活動を通して、学んだ成果をもとに地域の魅力紹介を行う中で、生徒達が自ら地域を見つめ直すよい機会となり、地域への愛着をもつ生徒の割合が増えた。
- ・体験活動全般を通じて、地域の方に技術や文化を教えていただきながら、物づくりなどに組み、地域貢献や地域参加への意欲が高まった。
- ・課題としては、発信というところがまだまだ弱かったので、次年度は今年以上に発信力を高めていく必要がある。



門松づくり：完成した門松を囲んで、最後に記念撮影をする参加者たち。